

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

| | | | |
|------|-----------------------|------|----------|
| 整理番号 | 75 | 大学等名 | 山梨学院短期大学 |
| テーマ | テーマV 卒業時における質保証の取組の強化 | | |

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・学修成果を3つの要素で概念化するとともに、学修成果を学内・学外の両輪で評価並びに社会に提示する仕組みを構築することによって、学生の主体的な学びの促進や学修時間の増加など、教育活動の改善が期待できる取組が行われており、大学全体の改革が進められている。また、これまでのGP採択事業7件を踏まえ、他大学の取組事例も参考にしながら、「学修成果レーダーチャート」、「PROPERTIES e-learning」、「学修ポートフォリオ」、「タブレットを活用した学修時間調査」等の取組を進めていることは評価できる。さらに、必須指標及び独自の事業目標はいずれも高い水準を設定し、同時に目標に対する達成度は良好であり、全体としての取組が着実に進捗していることは評価できる。
- ・事業の実施体制については、学内に「PROPERTIES 推進室」、学外に「学外助言評価委員会」を新設するなど、学長を中心とした体制が組織的に整備されており、FD・SDの実施体制の整備や、学内への周知徹底もなされている。また、取組の自己評価が適切に実施できる体制整備もなされており、客観的なエビデンスに基づいたPDCAサイクルが機能するように実施体制が整備されていることは評価できる。
- ・本事業の取組による成果を全国の高等教育機関へ波及させるための計画は、当初の予定通り進められていることから評価できる。また、補助期間終了後も継続的かつ発展的な事業実施が期待でき、評価できる。

<改善を要する点>

- ・選定時に付された留意事項への対応は概ね適切に行われている。しかし、一部の項目についてはより具体的な対応策を説明する必要がある。